

組合だより

【 第317号 令和2年11月 日本羊腸輸入組合 】

理事会

○10月21日 令和2年度第3回理事会

理事9名中8名、監事2名中1名の計9名（うち3名はWEB会議方式）の出席により開催されました。

議題は、①最近の輸入状況について、②今年度第2四半期の業務執行状況について、③組合事業と財政健全化について、④その他（今後の日程等）でした。

③の組合事業と財政健全化については、先に実施したアンケート結果を踏まえ、今後の組合事業として取り組むべきもの及び賦課金の引上げ案等について審議し、引き続き次回理事会で審議することとなりました。なお、このアンケート結果は、組合ホームページの会員ページに掲載しましたので御覧ください。

事務局

○10月 5日 INSCA/ICTRに対し日本の天然ケーシング輸入状況等に関するマーケットレポートを提出しました。

○10月 8日 INSCA/ICTRから、EU天然腸輸入規則の変更に関し意見照会があり、関連する組合員から対応状況等を徴取しました。

○10月 9日 本年度第3回理事会の理事長招集手続を行いました。

○10月19日 第3回理事会開催に向け、WEB会議参加予定理事のご協力の下でZOOM利用のテスト運用を行いました。

○10月23日 天然腸輸入報告統計協力11社に対し、9月分の結果報告と10月分の報告依頼を行いました。

- 10月28日 英国NSCAのHarder会長に対する「英国からの天然腸輸入の再開に向けた協力要請」について、川村理事長との打ち合わせを行いました。

統計

*統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

令和2年9月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 393.6t(前月比+ 24.5t、106.7%/前年同月比+ 49.9t、114.5%)
- ・中国原産 236.1t(// + 66.2t、138.9%/ // + 30.5t、114.8%)
- ・豪州原産 26.2t(// △ 84.7t、23.6%/ // △ 50.0t、34.4%)
- ・NZ原産 121.2t(// + 45.4t、159.8%/ // + 67.4t、225.1%)

【ソーセージ生産量（日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ）】

令和2年8月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- *ソーセージ類合計生産量 : 25,397.7トン (前年同月比 : 96.5%)
- ・ウィンナーソーセージ : 18,937.7トン (// : 96.7%)
- ・フランクフルトソーセージ : 2,781.7トン (// : 80.3%)

HP更新内容（統計関係を除く）

- 海外渡航者新型コロナウイルス検査センター (TeCOT) のサービス開始について (経済産業省からの周知依頼)
- 11月5日 (木) 実施の緊急地震速報訓練について (内閣府 (防災担当) 及び気象庁からの協力・周知依頼)
- 先に実施した「組合事業と財政健全化への意見募集」の結果報告について (事務局報告)

参考情報・お知らせ

- 本年度第3回理事会は、新型コロナウイルス感染症対策としてWEB会議と組合会議室を併用しての開催となりました。組合会議室に御出席いただいた理事及び監事には、入室時の体温チェック・消毒・マスクの着用をお願いし、会議卓はアクリル板により一人一人のスペースを通常より広く確保する工夫をしております。

○新年最初の理事会に合わせ開催しております「新年賀詞交歓会」ですが、令和3年度の賀詞交歓会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止することといたしました。

○新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府への提言(10月23日)

年末年始は飲酒や会食の機会が増えることから、新型コロナウイルス感染症対策分科会において示された「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」について、周知依頼がありました。

《感染リスクが高まる「5つの場面」》

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・ 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・ また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

【場面2】 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】 マスクなしでの会話

- ・ マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・ 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

【場面4】 狭い空間での共同生活

- ・ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・ 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

【場面5】 居場所の切り替わり

- ・ 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・ 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

《感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫》

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、②なるべく普段一緒にいる人と、③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに。(正面や真横はなるべく避ける) (食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。)
- ・会話する時はなるべくマスク着用。(フェイスシールド・マウスシールド(※1)はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要(※2)。)
 - ※1 フェイスシールドはもともとマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
 - ※2 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

今後の主な予定

- 11月 5日(木) 日本羊腸輸入組合創立記念日(休日)
- 令和3年 —
- 1月13日(水) 令和2年度第4回理事会 (新年賀詞交歓会は中止)
- 3月17日(水) // 第5回理事会
- 4月15日(木) 監事監査
- 4月21日(水) 令和2年度第6回理事会
- 5月28日(金) 第58回通常総会

以上